



(版画、題字  
角田 正雄書  
春木町)

## レクリエーションから笑顔の輪



- P2 • ボランティア交流会報告
- P3 • 地域のお助け隊養成講座報告  
• 豊丘サロン紹介
- P4 • 東日本大震災義援金御礼と延長募集  
• 日赤奉仕団東京本社見学報告
- P5 • 助けられ大賞推進会会长賞他

今年度のボランティア市民活動交流集会は、約100名の参加者が、日本レクリエーション協会の町季与子先生の指導のもと、体を動かし、頭を使い、楽しみながら学びました。

会場は笑い声がたえず、ゲームを通じてなごやかに交流ができました。

参加者の皆さんのが、交流会で学んだものを、地域で発揮することで、交流会での笑顔の輪が、市内全域に広がっていくことでしょう。

2012 4



社協は社会福祉法第109条に規定された地域福祉を推進する団体です。  
社協が実施する様々な福祉事業は、皆さまからの社協会費と共同募金が主な財源です。

再生紙を利用しています。

# ボランティア市民活動交流集会

須坂市ボランティア連絡協議会 副会長 滝沢 真理

報告

うま

ボランティア市民活動交流集会

須坂市ボランティア連絡協議会 副会長 滝沢 真理

ボランティア市民活動交流集会

H24年  
3月10日

「コニコニケーキショウ」  
「レクリエーションから笑顔の輪」をテーマに、中央公民館にて、施設・サロン・地域でボランティア活動をされている方が約100名参加され交流会が開催されました。



当日の進行をする滝沢副会長

ボランティア団体は、理解ある市民やボランティアによつて、発展している」とお言葉をいただきました。

ボランティア団体は、理解ある市民やボランティアによつて、発展している」とお言葉をいただきました。

ボランティア団体は、理解ある市民やボランティアによつて、発展している」とお言葉をいただきました。



ボランティア団体は、理解ある市民やボランティアによつて、発展している」とお言葉をいただきました。

ボランティア団体は、理解ある市民やボランティアによつて、発展している」とお言葉をいただきました。

ボランティア団体は、理解ある市民やボランティアによつて、発展している」とお言葉をいただきました。

ボランティア団体は、理解ある市民やボランティアによつて、発展している」とお言葉をいただきました。

ボランティア団体は、理解ある市民やボランティアによつて、発展している」とお言葉をいただきました。



## 第1部 グループの活動報告

「あしの会」「趣味の会」



## 第2部 体験レクリエーション

町季与子先生

「皆さんにお会いしたか

ったのよ」

と

い

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

</

恩返しのつもりでやつていきたい

## 「地域のお助け隊養成講座」参加者の感想

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, looking directly at the camera.

講座に  
参加する  
にあたり、  
自分はボランティ

は何か安心した様子で、顔  
がほころびます。ボランティアをやる側も、される側  
も、ボランティアの源は、  
お互いに思いやる気持ちだ  
とわかりました。



### 第3回 オレンジキャラバン

ア活動に向いているか自問自答し、様々なことが頭をよぎつていきました。講師の方々の話を聞いていると、自分も勉強すれば出来るかもしれないと思うようになります。講師の話が少しづつ理解できるようになってきた半面、難しさもわかつてきました。

認知症についても「個人情報」がネックになつていると感じました。松代町の方々の発表から、相手の立場になり、コミュニケーションをとることの大切さを学びました。

私も自宅で犬を飼っています。犬の散歩中高齢者の方と会うことも度々あります。その時は、できる限り挨拶をし、話をするようになりました。高齢者の目線に合わせると、高齢者の方

自分がどのサークルに向いているかわかりませんが、4回の講座で学んだことが役立つサークルに入りたいと思います。高齢者の方々にはいろいろとお世話になつたので、恩返しのつもりで微力ながらボランティア活動をしていきたいと思いします。

が中心となり立ち上がりましたが、高齢化率が進む豊丘地域、たゞそこで集まつてお茶を飲んでも皆さんが集まるのだろうか。

りの交流サロフとして活動を続け、今年で4年目を迎えていおむ。

また、地域の保育園児や小学生との交流も行われてあり、サロノ開催日に合わせ、子ども達が元気な歌声をフレゼントしてくれたりと、とても楽しみにしている参加者もいるのです。

ていな／＼ても、誰もが住み  
なれた地域で気軽に交流で  
きるところであり、地域に  
よつては、様々な特色を活  
かした活動を行つています。  
豊丘町のふれあいサロン  
はそんな特色を活かしたサ  
ロン活動を行つています。

また農協さんを巻き込みながら、出張販売ができるサークルはどつかと提案、農協さんからは閉鎖した場所の提供と簡単な日用品が購入できる出張販売が実現、民生児童委員は買物に来ていただいた方に、お茶や漬物をふねまつ、話しかしながら

**出張購買所「おでかけなして」**

豊丘町ふれあいサローネ出 買物できるお店が無  
出張購買所「おでかけなし」  
継続しています！ 豊丘町ふれあいサロ

また、開催日は、豊丘地域の各町の回覧板でお知らせをしており、多い時では40名くらいの方が来て、買物やお茶のみを楽しんでいます。参加者の平均年齢は約80歳位、最高齢は90歳、シニアカーや手押し車を押して歩いてくる方が大半だそうです。

また、地域の保育園児や小学生との交流も行われてあり、サロント開催日に合わせ、子ども達が元気な歌声をプレゼン自然而参加者もこのようです。

# 東日本大震災から1年

日赤からの御礼と義援金の延長について

昨年3月11日に日本を襲つた東日本大震災、翌日長野県の北信地方を襲つた長野県北部地震から1年が経ちました。

あらためて、亡くなられた皆さんへ哀悼の意を表すとともに、被災されたすべての皆さんに心よりお見舞いを申しあげます。

そして震災直後より、義援金をお寄せいただいた皆さんに、厚く御礼を申し上げます。



あらためて、亡くなられた皆さんへ哀悼の意を表すとともに、被災されたすべての皆さんに心よりお見舞いを申しあげます。

課窓口までお願いいたしました。なお、受領書の必要な方は社協または、市役所福祉課窓口になります。

実施しています東日本大震災義援金受付は、9月30日まで延長をしました。須坂市での義援金箱設置箇所は須坂市社協・市役所福祉課・中央公民館・メセナホール・クラシック美術館の

なあ、日赤須坂市地区で実施しています東日本大震災義援金受付は、9月30日まで延長をしました。須坂市での義援金箱設置箇所は須坂市社協・市役所福祉課・中央公民館・メセナホール・クラシック美術館の

いります。

## 義援金報告

東日本大震災  
長野県北部地震(糸村)

須坂市で受付をしました義援金	
(平成23年3月14日～平成24年3月21日)	
東日本大震災	38,403,053円
長野県北部地震	4,673,208円
合	計 43,076,261円

なあ、長野県北部地震義援金の須坂市受付は平成23年9月30日で終了いたしました。

これまでに皆さまからお預かりした義援金は、被災された15都道県の義援金配分委員会に送らせていただき、市町村を通じて被災された皆さまに届けられてあります。

被災地の、そして被災された皆さまの復興はまだじまつたばかりであります。が、日本赤十字社ではこれからも被災された皆さまへの支援を引き続き行ってま

多くの皆さまから温かい気持ちをお寄せ頂きありがとうございます。

お名前の公表が可能な方のみ掲載させていただいております。

多くの皆さまの御協力により、たくさんの方の義援金があつきました。

多くの方の御協力により、たくさんの方の義援金があつきました。



日赤奉仕団による呼びかけ



救援物資が置いてある地下倉庫で説明をうける

救援物資が置いてある地下倉庫で説明をうける

り春まつり」の歩行者天国に併せて須坂市日赤奉仕団による東日本大震災街頭募金を実施しました。

東京都支部のボランティア2名の案内により、須坂市日赤奉仕団14名が日本赤十字社本社へ視察研修に行ってきました。

## 須坂市日赤奉仕団 東京本社視察研修

3月18日（日）「銀座通り春まつり」の歩行者天国

東日本大震災街頭募金実施

東京都支部のボランティア2名の案内により、須坂市日赤奉仕団14名が日本赤十字社本社へ視察研修に行ってきました。

ア2名の案内により、須坂市日赤奉仕団14名が日本赤十字社本社へ視察研修に行ってきました。

勇気を奮って言つた「助けてー」の一言。ここから助け合いがはじまります。

## ○ ○ ○ 助けられ大賞 決定される

### 助け合い推進会議会長賞

交通事故から高次脳機能障がいへ、そして今

高山村 富澤 房江



### 須坂市社会福祉協議会会长賞

ご近所のありがたさ  
松川町 鹿野 洋子

方に電話で「助けて」と叫んでいました。

ご夫婦ですぐに来てくれ、病院につれていつてもらい

筋肉縫合の手術は無事に終わりました。

その後も、車の運転ができない私を毎日病院へ送り迎えしてもらったり、あきらめていた畠の野菜の収穫なども全部やつてもらい感謝しても感謝しきれない気持ちでいっぱいです。

主人は退院後、リハビリを受け、今では近所の畠くらまでは私と一緒に車を運転できるまでになりました。また以前からマレットクラブや詠曲クラブにも参加していく、また再開できるようになります。最初は同じクラブの方に送迎してもらっていましたが今は一人でいけるようになり、リハビリもかねて毎回楽しみにしています。

息子、直希は平成二十年、

念願の高校に入学し自転車通学を始めました。しかし

まもなく登校途中にトラッ

クと衝突し、運ばれた病院

でいろいろな機器につながれた姿を見たときは「もう、だめだ」と思いました。

次第に危機的状況から抜け出ることはできましたが、「高次脳機能障がいが残る」

と言われました。その後数ヶ月の入院や通院のリハビリを行いながら、平成二十二年には念願だった養護学校への入学が実現し、今は高等部二年生として毎日楽しく通っています。

また、近くの卓球好きな仲間から声をかけていただき、**「高山テープルテニス**として、楽しく活動しています。たった三人から始ま

った卓球ですが、いまでは野球観戦を一緒に楽しんだ地域の人、興味のある人、仲間に入りたい人なども加わり、輪がひろがりました。

高次脳機能障がいという聞きなれない障がいの説明を初めて受けた時、人間らしい感情が損なわれ、感情のコントロールができなくなり、などと言われ愕然としました。そんな不安な日々を過すうちに、いろいろな機会がありました。

集いや親の会などに参加する機会がありました。

「高次脳機能障がい患者・家族の集い」では「見た目ではわからない障がいで、寝食を共にした家族しかわからぬいつらさがある。ここでしか話せないこともあります。うれしくて涙がでました。話せる場、聞いてくれる人がいることがこんなにあります。がたいことなのだと実感しました。

また、あらゆサロンという障がい者の親のサークルでも、それぞれの悩みや障がいがちがつても、痛みがわかりあえる場でたいへん助かれています。交通事故から三年、一時は死を覚悟し、どん底でしたが、周りには理解しようとしてくれる人もいて、言えば助けてくれる人があります。だから一人でも多くの人に「助けて」と言つていいんだよ」と声をかけていきたいと思います。

(要約)

もともと腎臓に病気を持っている主人は今年の五月半ばの頃からよく転ぶようになりました。その病気のせいだろうと思いましたが、ついでいる主人は病院で検査をしてもらうと硬膜下血腫でそのまま入院、手術することになりました。悪いことは重なり、今度は私が自転車で転び、膝にぱつくりと傷口があき出血してしまいました。びっくりして「救急車を」と思いましが、民生委員当事に学習した「助けて」といってからもよろしくお願ひします。



（要約）

主人が倒れてから半年あまりが過ぎましたが、あいかわらず町ぐるみで助けてもらっています。

また以前からマレットクラブや詠曲クラブにも参加していく、また再開できるようになります。最初は同じクラブの方に送迎してもらっていましたが今は一人でいけるようになり、リハビリもかねて毎回楽しみにしています。

主人が倒れてから半年あまりが過ぎましたが、あいかわらず町ぐるみで助けてもらっています。

# 社協情報掲示板

平成24年4月1日第317号（毎月1回1日発行）



## • あたたかなご厚志に 感謝いたします。 •

- 匿名様 タイツ多数
- 須高建設産業労働組合主婦協議会  
会長 竹前 美枝子様 タオル多数
- 匿名様 10,000円
- フコク生命 須坂・長野営業所職員一同様 タオル多数
- 匿名様 切手多数
- 株クリーンオプチカル様 古切手多数

須坂市立相森中学校  
平成23年度3年2組様  
古切手・プルタブ多数

… 2月15日～3月14日 受付分です…



## 秘密 厳守 日常生活の悩み・法律に関する 心配ごと相談所 相談無料

### ①日常的な悩み・心配ごとの相談(専門相談員)

相談会場	相談日	相談時間
須坂市社会福祉協議会 来所・専用電話相談 248-9977	月曜日～金曜日	午前9時～午後4時 (随時)
すざか女性未来館 (中央公民館)1階相談室	12日(木) 26日(木)	午前9時～12時

### ②法律に関する相談(無料・完全予約制)

相談会場	相談日	相談時間
すざか女性未来館 (中央公民館)1階相談室	12日(木) 26日(木)	午後1時～4時

\*弁護士がご相談に応じます。お一人20分以内です。

\*完全予約制 電話 248-9977または245-1619

## • 第三者委員紹介 •

(社協が提供する福祉サービスの苦情  
を解決するために設置)

任期 平成24年4月1日～平成26年3月31日まで  
塙木 一夫氏(屋部町)  
小泉映美子氏(望岳台)

## 人事異動

### 退任【3月31日付け】

常務理事兼事務局長	竹前 晴夫
事務局次長	畠山 仁美
老人福祉センターくつろぎ荘所長	坂田 和昭
精神障害者授産施設ぶどうの家所長	丸田 孝雄

### 新任【4月1日付け】

常務理事兼事務局長	勝山 修吉
事務局次長	高相 道子
助け合い起こし推進係長	須山 範一
第Ⅱ居宅介護支援係長	小松 正典
デイサービスセンターぬくもり園所長	竜円富美子
老人福祉センターくつろぎ荘所長	田中 敏治
指定障害福祉サービス事業所ぶどうの家所長	中嶋 則子

+ 献血情報 +

日時	4月27日(金) 午前9時00分～11時00分
場所	JA須高井上支所
日時	4月27日(金) 午後3時00分～4時00分
場所	須坂市社会福祉協議会
日時	5月17日(木) 午前9時00分～10時00分
場所	須坂ハイランド集会室
日時	5月17日(木) 午前11時00分～12時00分
場所	須坂市中央公民館

65歳以上の献血については、献血される方の健康を考え、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

\*この他、献血時の検査及び問診内容(病気・服薬等)や、海外から帰国後4週間以上経過していませんと献血をお受けできない場合があります。

ご意見ご要望をお寄せ下さい。☎ (026-245-1619)・FAX (026-246-0054)・  
メールアドレス (cocoro@suzaka-shakyo.jp)・ホームページURL(<http://www.suzaka-shakyo.jp>)

発行人 社会福祉法人須坂市社会福祉協議会 長野県須坂市大字須坂476-1

☎ 026-(2445)-1619 FAX(2446)-0054

印刷 佐藤印刷株式会社